



今月の話題：突然に降ってわいたようなコロナ・ウイルス禍が世界を混乱させている。死者が増大しているとの報道に緊迫感が募り、パンデミックなる言葉が現実性を帯びてささやかれる。テレビ等で声高に危険を叫びあう雰囲気それ自体が危険であると感じざるを得ない。外的れの活動自粛の風潮もあるようだ、ここは最も冷静、慎重に行動すべきときだとして我々高齢者が範を示すべきと思うがどうだろうか。（伊藤誠三）

□ **本部便り：**（金森捷三郎 記）

・2月20日、令和2年総会終わる。理事15名、監事2名とも留任。（任期2年）

○次回拡大理事会：5月22日（金）18:00～

□ **建築部会：**（岡本直 記）

・2月の建築部会は2月10日（月）に開催

1) サーツ寺子屋 2020年度第2回以降の検討。次回開催を4月頃とし、テーマ候補の検討

2) 建築リフレッシュ見学会：見学可能候補を検討「防災対策具現化および冊子改訂」

3) 新SWG（サブワーキング）の立上げ：防災対策の具現化の検討（主査 岡本直）マンションの防災計画や企業のBCP（事業継続計画）対策等、サーツが支援できる仕組みや体制、広報の仕方を考える。

4) 冊子「あなたが知りたいマンションの耐震性」の改訂（主査 小鹿紀英）：東日本大震災を受けて、2016年1月に「再改訂版第2版」を多方面から見直し、再改訂を検討する。

5) 上記SWGに加え、「人生100年時代における建築のあり方を考える」をテーマとして検討する。

6) 新規受託業務：都内某社から事業継続計画に関連して工場施設の総合的な安全性の検討依頼を受け、中田幸夫氏をプロマネとして実施中。

○次回建築部会 3月23日（月）17:30～19:00

□ **戸建住宅部会：**（阿部市郎 記）

・コロナウイルスの蔓延が憂慮すべき状況になってきました。とりあえず3月5日（木）開催予定の戸建住宅部会は中止とさせていただきます。チェーンメール等で「まことしやかな情報」が横行しているようです。お互いに自衛対策をしてメール等で連絡を取りながら、業務をすすめたいと思います。

○次回部会予定：3月5日（木）は中止です。

□ **集合住宅部会：**（小畑晴治 記）

・コロナウイルス問題から、家（＝自分の家）の大切さが分かってくる。非常事態で自分のまちが外部から遮断された場合にも、日本で起きている（起きかけている）“感染拡大での病院の全患者受け入れ

不能”のために自宅待機が不可避となった場合にも、自分の家の安定性・安全性・安心感は何物にも代えがたい。大病院の入院患者も、万が一に院内感染が発生した途端状況一変で、大変な事態に直面することになる。

ピカピカの新築住宅であっても、厄災をやり過ぎせるための十分な保障は得られない。武漢市の場合のように中長期の持久戦になった場合、“近隣コミュニティの共助関係の重要性・ありがたさ”が何物にも代えがたい状況にあると想像される。

近年、自然災害が相次ぎ猛威を振るう中で、今回のような“社会災害”とも言える災禍が発生した際にも、なんとかやり過ぎせる“レジリエントなまちづくりと住まいづくり”の重要性を、サーツ会員の皆様も痛感されておられようが、是非これからの取組・活動の基幹要素にしたいと考える次第です。

○次回部会予定：3月25日（木）18:00～

□ **マンション管理組合支援事業部：**（丸山和郎 記）

・R.2年2月度、管理組合支援事業受託進展状況

1) 2月度の新規引合いはなし

2) 前期から取組中の引き合い案件は2件（①国分寺市、実施設計②上鷲宮改修設計）

3) 新規受託案件は2件（①国分寺市、建物診断調査②稲城市、長計見直し）

4) 前期からの繰越案件が2件（①町田市、実施設計②品川区、理事会運営補助）

◇R.2年度の活動計画：R初年度は各位の努力で、部の受託目標を達成できました。今期も厳しい状況ではありますが、受託目標のほか、活動計画を総会議案書に報告しました。

○次回部会予定：3月25日（木）18:00～

（集合住宅部会との合同開催）

□ **建築技術誌3月号**（2月17日発売）サーツ欄

・坪内信朗：“良き出会い”に支えられて

・小藤捷吾：デベロッパー（開発者）などのためのCLT講習会2019実施

□ 余滴：春時雨言葉なく待つガン検査 捷三郎